

日付：2021年2月19日（金）

今日の行き先

No	TOPIX	媒体	解説	活用・リストアップのヒント
1	認知症患者の預金引き出し、本人利益なら代理容認全銀協指針	日経1 介護・認知症	<ul style="list-style-type: none"> 全国銀行協会は18日、認知症患者が持つ預金の引き出しに関する指針を正式に発表 医療費など本人の利益が明らかな用途について親族が代わりに引き出せる 指針では法的な代理権を定めた成年後見制度などの利用が基本としつつ、医療費や介護費の確保のために預金引き出しや投資信託の解約に応じる条件を示した ⇒2月17日の一報では、投資信託の記事はなく、情報をアップデート。17日の投稿も確認 	認知症のニード喚起に活用相続への派生も 2月17日の日経の続報ですね～とお客さまへ話しかけましょう
2	組織委会長に橋本氏 五輪準備、時間との戦い 五輪相後任に丸川氏	日経1 大見出し・話題	<ul style="list-style-type: none"> 東京五輪・パラリンピック大会組織委員会の会長に、五輪相を務めてきた橋本聖子さん 会長は、大会を主催する国際オリンピック委員会(IOC)と、入国管理や防疫措置といった行政面の対応を担う日本政府との間に立つ調整役という位置づけ 最大のテーマは新型コロナ対策だ。春には観客数の制限措置を決める 4月にはコロナ対策が実際に機能するかをチェックする「テスト大会」 聖火リレー(3月25日に福島県からスタート)の対応等、課題は山積み 	本日の大見出しとして情報をアップデート
3	75歳以上のドライバー死亡事故、全体の13.8% 昨年333件、依然高水準 操作ミス多く	日経1 医療保障・自動車保険	<ul style="list-style-type: none"> 75歳以上のドライバーが過失の最も重い「第1当事者」となった車やバイクの交通死亡事故が、2020年は333件(全体の13.8%)と警視庁が発表(75歳未満の2倍以上) 死亡事故333件の種類別は、電柱等との衝突が91件、転落などは54件 法令違反別では、ハンドル操作ミスやアクセルとブレーキの踏み間違いなどの「操作不適」が最多の29%(96件)。注意散漫で信号を見落とすなど「漫然運転」は13%(42件)、 75歳以上の自主返納者は19年に約35万件と過去5年で2.8倍 	セカンドライフの医療保障や、75歳以上ドライバーからのもらい自己を含め、保障(補償)の充実
4	その他 TOPIX	投資・積立 ライフ ライフ	13 22 37	<ul style="list-style-type: none"> タイ、ビットコインが熱狂的人気 利用者保護の対策必要 暗号資産(仮想通貨)ビットコインが史上最高値⇒規制がなく懸念 コショウ国内価格、じわり値上がり 主要産地ベトナム減産 東京周辺地盤の地銀 移住ニーズ開拓に力 サイトや住宅ローン優遇⇒テレワーク需要取り込み。最大151万超の助成も

Today's アドバイス

今日は何の日	本日の言葉
<ul style="list-style-type: none"> プロレスの日 天地の日 万国郵便連合加盟記念日 	<p>自由というただひとつの言葉。 思うにこの言葉こそ、古くから人間の熱狂をいつまでも持続させるにふさわしいものなのだ／アンドレ・ブルトン(詩人)</p>

定期預金金利 (1,000万以上/10年)	0.002%	国債(10年) 360回	0.090% -0.005	米国債(10年) 1.297%/ 0.023	
日経平均	30,236.00 -56.10	ダウ平均	31,493.34 -119.68	中国国債(10年) 3.316%/ 0.073	
コロナリ患者数 (国内)	422,676 1,539	コロナ死者数	7,312 76	韓国総合指数 KOSPI	3,086.24 -42
インフルエンザリ患者 (2月1-7日)	98 (昨年70,076人)	参考:2018年 罹患者数/死者数	約1200万人 /3,325人	コロナ罹患者数 (世界)	109,901,391 387,488
				インフルエンザ ワクチン供給量	約3,178万本 (6,300万人分)

本日の深掘りウォッチ：認知症の必要性

認知症の患者数は、**予備軍を含めると、65歳以上の約4人に1人**といわれており喫緊の課題です。

日本は、世界の各国と同様に、**国家戦略として「認知症」を対策**しようとしています。それでも、予算の関係や周知等の課題もあり、『認知度』は低く、**身近であるという認識は低い**といえます。**本来であれば、「社会保障」として対応**すべき問題ですが、できていないのも現状。そんな**社会保障としてのすき間を民間（生命保険会社）にゆだねられている**中、自分の大切なお客さまには、しっかり保障として検討していただき、**最良の選択をしていただきましょう！**自分が守らなければ、ほかの人（会社）が機会を得ることに!!

認知症の保障の必要性を3ステップで説明

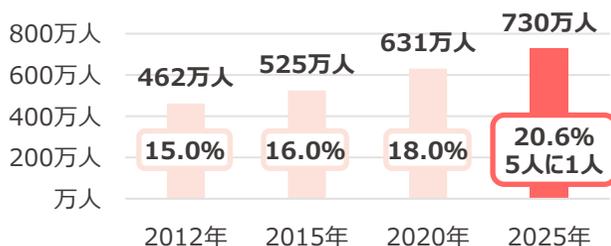
1

認知症が身近であることを説明

キーワード

- 65歳以上の方の5人に1人（2025年）
- 介護の原因の1位

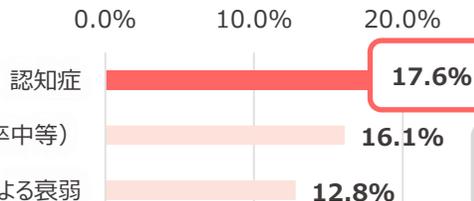
■ 認知症高齢者の将来推計※1



■ 介護が必要となった主な原因の構成割合※2



脳血管疾患（脳卒中等）
高齢による衰弱



2

国家で対策が検討されている事実をお伝え

キーワード

- 国も真剣に考えているんです
- 日本だけではなく、世界共通の課題

■ 日本の国家戦略※3

日本の認知症に対する国家戦略の概要

- 認知症施策推進大綱（2020年6月18日）



■ 世界の国家戦略（認知症）※4

日本	認知症施策推進総合戦略
米国	国家アルツハイマー計画
英国	国家認知症戦略

国も真剣に課題として認識しているんですね
社会保障の一つとして、考えていただきましょう!

3

お金がかかることを認識してもらう

キーワード

- 月平均78,000円
- 平均介護期間は4年7カ月
- トータルおおよそ500万かかる



■ 介護期間※5

平均4年7カ月

介護期間	割合 (%)
6カ月～1年未満	7.4%
1～2年未満	12.6%
2～3年未満	14.5%
3～4年未満	14.5%
4～10年未満	28.3%
10年以上	14.5%

■ 介護費用（月額）※6

平均月額78,000円

（+一時金の約69万と合わせて約**500万**）

提案へ

4

参考)※1,3,4…厚生労働省「認知症施策」/※2…厚生労働省「国民生活基礎調査」/2019年、※5…生命保険文化センター「生命保険に関する全国実態調査」/平成30年度、※6…生命保険文化センター「生命保険に関する全国実態調査」/平成30年度

本資料は、個人の見解をまとめたものとなっています。参考させていただいたサイトはリンク等を掲載しております。また、当社のコンテンツ・情報につきまして、可能な限り正確な情報を掲載するよう努めておりますが、必ずしもそれらの正確性や安全性等を保証するものではありません。誤情報が入り込んだり、情報が古くなっていることもございます。万が一、当社に掲載された内容によって発生したトラブルや損害等の一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承くださいようお願いいたします。お問い合わせ等は下記URLまでご照会ください。当コンテンツは、著作権法上の保護を受けています。著作権者の許諾を得ずに、当コンテンツの一部または全部を無断で複写・複製・転載することは禁じられております (<https://labo-ks.co.jp/>)。 © 2021 k's らぼ株式会社